

# 東京外かく環状道路(関越道～東名高速間) 対応の方針について

## 1. 対応の方針とは

これまでに頂いた地域のご意見や要望に対し、国と都の現時点の考え方を示したもの

## 2. 対応の方針策定までの経緯

- 平成19年4月、高架方式(昭和41年都市計画決定)から地下方式に都市計画を変更
- 平成19年12月の第3回国土開発幹線自動車道建設会議の議を経て、基本計画を決定
- 平成20年1月～12月

環境対策やまちづくりなど 各地域の課題を整理するため、沿線の区市において  
地域課題検討会を開催

- 平成21年1月

これまで、オープンハウスや検討会などで頂いたご意見等を踏まえ、対応の方針(素案)を公表



○平成21年1月～2月末  
対応の方針(素案)に対する意見募集

## 平成21年4月 対応の方針(案)



○平成21年4月  
沿線区市長意見交換会(第9回)

## 平成21年4月 対応の方針

## 3. 今後の進め方

- 今後、事業化された場合、事業の各段階において、「対応の方針」に基づき地域の各課題に対して、引き続き地域のご意見を聴きながら 詳細な検討を実施

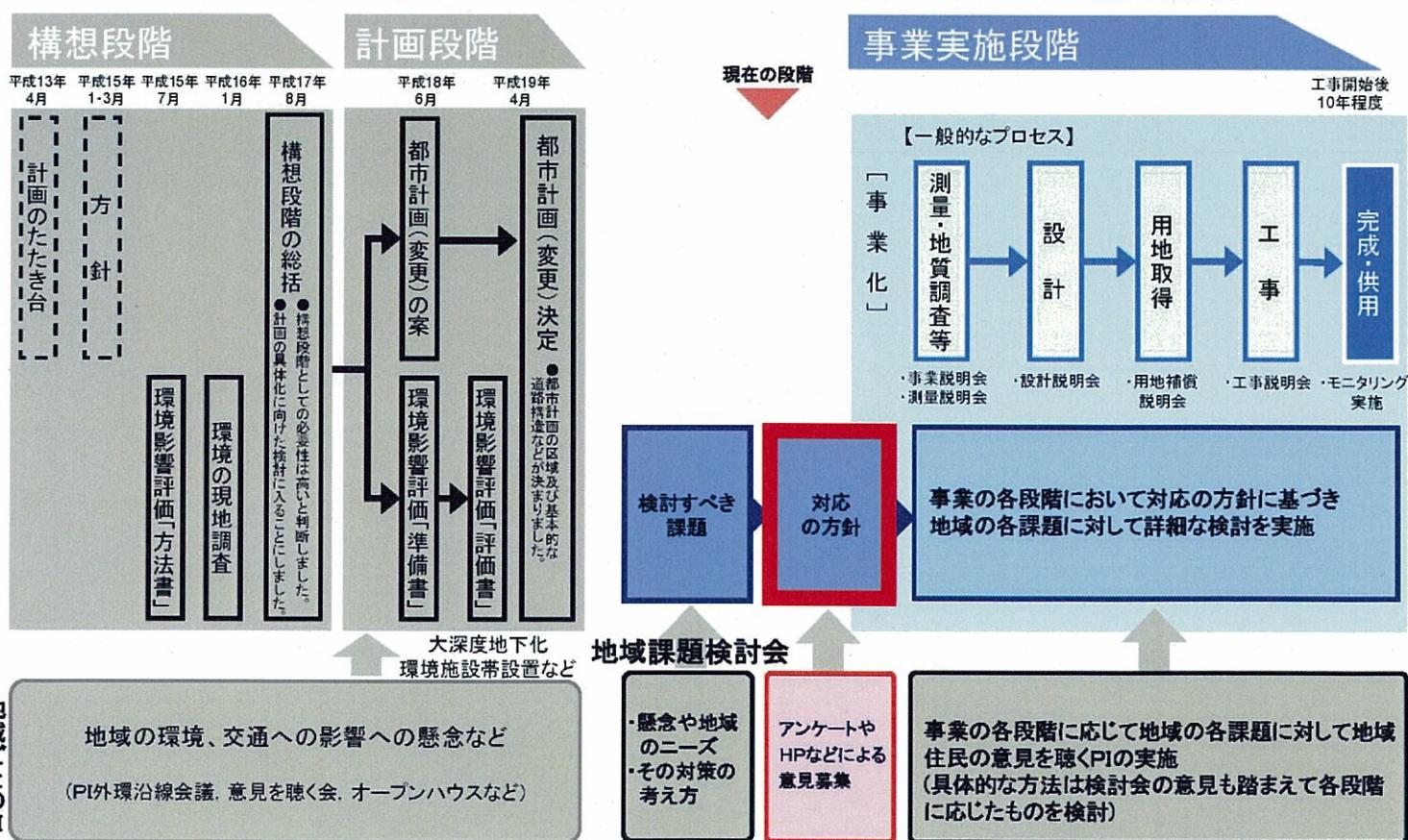
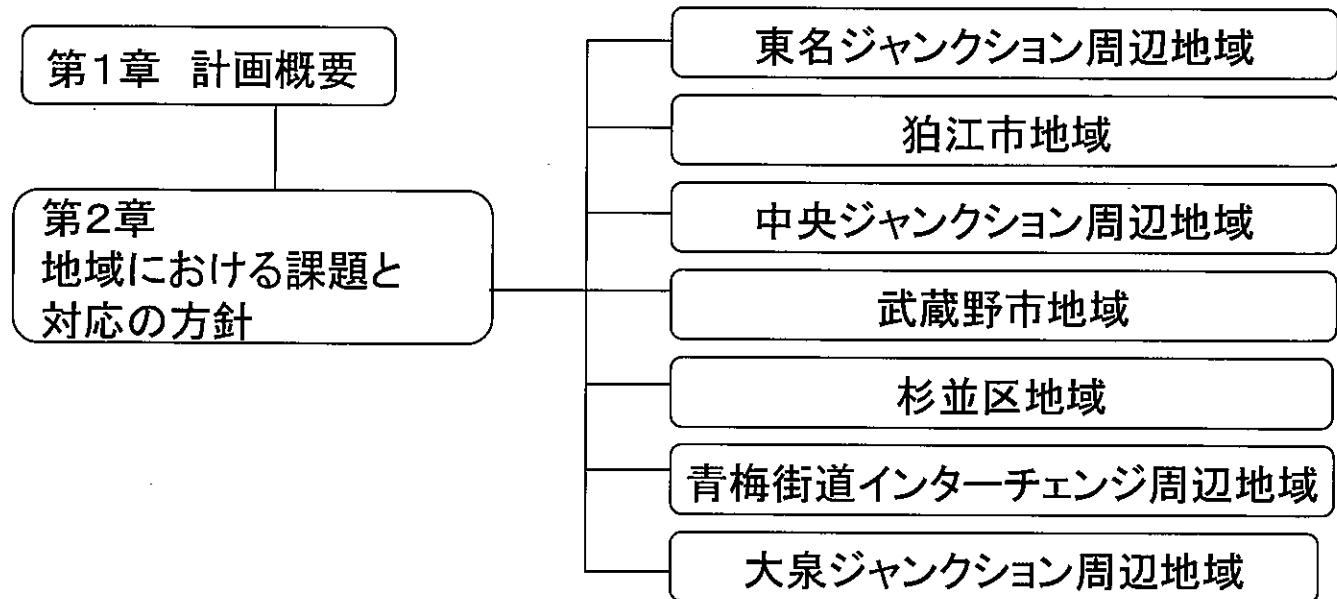


図1 「対応の方針」の位置づけ



各地域ごとに以下の項目について、みなさまの意見と対応の方針をとりまとめました。

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| 1. 交通            | 4. 安全・安心      |
| (1)地区交通          | (1)交通安全・治安    |
| (2)幹線交通          | (2)災害・事故時の対応  |
| (3)広域交通          |               |
| 2. 環境            | 5. 工事中        |
| (1)大気質           | (1)工事中の交通への影響 |
| (2)騒音、振動、低周波音    | (2)工事中の環境への影響 |
| (3)地下水           | (3)工事中の安全性    |
| (4)動物、植物、生態系     |               |
| (5)緑の量           | 6. 用地補償       |
| (6)景観            |               |
| (7)日照阻害・電波障害・風など | 7. 計画検討の進め方   |
| (8)史跡、文化財        | (1)計画検討全般     |
| (9)環境一般          | (2)意見反映       |
| 3. まちづくり         | (3)情報の提供      |
| (1)まちづくり全般       |               |
| (2)地域分断          |               |
| (3)土地利用          |               |

※これらの項目は、地域により異なります。

# 【項目ごとの構成について(例)】

## 1. 交通

### (1) 地区交通

① 生活道路の交通量が増え、住宅街での渋滞や住環境の悪化への懸念

○これまでに頂いた意見

- ・地域の道路網が未整備の状況では、生活道路の交通量が増大し、静かな住宅街の住環境の悪化が懸念される。都市計画道路などの幹線道路による段階構成を整備して、成城地域の閑静な住宅街の環境を維持してほしい。
- ・大蔵5丁目を抜けて多摩堤通りに抜ける道は地元住民に通勤などで日常的に使われており、地区外からの通過交通も多いので、代替の道路を確保すると同時に、周辺の道路の処理を検討してほしい。

①

②

(国)

➤ 外環が整備されると、都心に用のない車がバイパスされ、都心に集中していた交通が分散されます。その結果、都心部の交通量が減少し、走行速度が上がり、スムーズな交通の流れとなることが期待されます。外環を含めた幹線道路ネットワーク整備が概ね完了した時点では、環状8号線の交通量が減少することなどにより、生活道路を走行していた通り抜け自動車が幹線道路を走行するなど交通の転換が促され、生活道路に入り込んでいた通過交通が減少し生活道路の安全性が向上する等の効果があると見込んでいます。

➤ しかしながら、東名東京インターチェンジ周辺の生活道路においては、通過交通が進入する可能性があり、ハンプや標識の設置などの対策については、事業の進捗に合わせ、地域のみなさまの意見を聴きながら世田谷区等関係機関と協力のもと検討を進め、適切な役割分担のもと進めています。

外環事業プロセスにおける検討時期

調査・設計

用地取得

工事中

供用後

### ①検討すべき課題※

これまで、オープンハウスや検討会などで頂いたご意見を、交通、環境、まちづくりなどの観点から地域のみなさまの懸念や期待としてまとめたもの

### ②これまでに頂いた意見

これまで、オープンハウスや検討会などで地域のみなさまに頂いたご意見

### ③対応の方針

①、②に対し、今後の進め方を含め国と都の考え方を示したもの。また、事業の基本的なプロセスにおける、「調査・設計」・「用地取得」・「工事中」・「供用後」のどの段階で対応するかを明示している

※検討すべき課題は、地域のみなさまから頂いた意見のうち心配されていることや不安や疑問に思われていることなどを「懸念」、要望されていることや地域への効果として期待されていることなどを「期待」として整理しています。